

JOMF 派遣医師便り (2019.11)

◆マニラ◆

デング熱も麻疹も多数患者が発生しています

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

デング熱と麻疹患者数に関するフィリピン厚生省から報告された最新報告をお知らせします。

【デング熱】

2019年1月1日から2019年10月26日までのデング熱患者数が報告されました。

- 患者数は37万8326人で昨年の2倍以上です。年齢別にみると；
 - ・患者年齢分布では若年者が多い
 - ・0～19才の患者で全体の74%を占めている
 - ・中央値は13才
 - ・50才以上は4%以下
- 同期間でのデング熱死亡者は1430人でした。
 - ・中央値は8才
 - ・5才～9才が38%を占めている

【麻疹】

2019年1月1日から2019年10月26日までに発症した麻疹患者数が報告されました。

- 報告患者数は4万2757人で、年齢別にみると；
 - ・6か月未満が12%
 - ・6か月～12か月未満が21%
 - ・1才～4才までの患者が26%
 - ・0才～9才の子供が全体の65%を占めている
 - ・麻疹患者のうちワクチン接種をしていない、または接種不明の患者は75%を占めている
- 麻疹による死亡者数は566人でした。
 - ・死亡者の80%以上が4才以下の子供
 - ・死亡者のうちワクチンを接種していない、または接種不明患者は91%を超えていた

以上です。